

令和4年度 大分市議会 市民意見交換会 意見・質問等への対応より抜粋

No.	委員会等で整理した 意見・質問	意見・質問等への対応 (担当部局の回答がある場合は、「」で囲んでいます)
1	<p>(総務)</p> <p>市が行う行政評価において、毎年度公表する評価結果については市民により分かりやすいものとなるよう努めるとともに、評価手法についても常に見直しを行いながら時代に即した的確な実施に努めるべきであると考え、見解を聞きたい。</p>	<p>担当部局(企画部)から「行政評価における評価結果については、分かりやすい形でお伝えできるようにするため、市民の視点に立って議論を行っていただく外部評価の場などでの丁寧な説明に努めてきたところであるが、今後も、市民の関心が深い事業や重要度の高い施策などを中心に説明責任の徹底を図っていくとともに、市民の満足度をより的確に測ることができるような評価指標の設定を検討するなど、評価自体を明確化するよう工夫を重ねていきたいと考えている。」との回答がありました。</p> <p>本委員会としても、市民にとって、より分かりやすいものになるよう今後の取組を注視していきます。</p>
2	<p>(総務)</p> <p>消防団員のなり手不足を解消するための取組について聞きたい。</p>	<p>担当部局(消防局)から「消防団員の確保については、地域に親しまれ、活力ある消防団を目指す『大分市消防団ビジョン』を令和元年に策定し、年額報酬や出勤報酬の見直しなど処遇改善を行った。また併せて、活動しやすい環境づくりや市民に身近な組織となるよう努めている。具体的には、消防団への入団を促すためには、消防団の役割やその活動に対して理解を得ることが重要なことから、消防団の必要性等をわかりやすく伝える広報誌『MATOI OITA』の回覧や、消防団活動をPRするための動画の公開などの広報活動、及び女性消防団体験会などを行っている。さらに今年度は、女性消防団員が幼少期の防火防災意識の啓発を行う『わくわく消防教室』にて実施する防災紙芝居を一新し、大分市オリジナルの紙芝居を作成しました。今後、女性団員のやりがいをさらに高め、消防団の認知度向上に取り組むこととしている。また、若年層をはじめとした市民に対し、消防団が、より身近な存在であると認識してもらうため、大分市消防団のWEBサイトを作成し、公開を開始したところである。」との回答がありました。</p> <p>本委員会としても、今後の消防団員のなり手不足解消に向けた取組が充実するよう求めていきます。</p>

令和4年度 大分市議会 市民意見交換会 意見・質問等への対応より抜粋

No.	委員会等で整理した 意見・質問	意見・質問等への対応 (担当部局の回答がある場合は、「」で囲んでいます)
3	<p>(厚生)</p> <p>災害時の避難所における、身寄りがなく要介護状態の高齢者の受入体制や支援をどのように考えているのか見解を聞きたい。</p> <p>また、避難の際にマット等の避難用具を持参するのは、緊急時では難しいため、市であらかじめ準備等の対応をしてほしい。</p>	<p>担当部局(福祉保健部)から、「本市では、指定避難所において、配慮が必要な高齢者などが避難してきた場合に、トイレや出入り口に近いスペースなど、避難生活を送る上で多少なりとも過ごしやすい場所を確保し、状況に応じて案内することとしている。また、体育館等での避難生活を送ることが困難な要配慮者のための二次避難所として、高齢者施設や障がい者施設、特別支援学校などの社会福祉施設と福祉避難所の協定を結んでおり、その開設については、台風の接近や豪雨などが予想される時点で、開設が可能な施設に協力をお願いしている。指定避難所には、アルミブランケットとアルミマットを配置し、希望される方にはそれらの貸与を行っているが、数に限りがあることから、避難所へ避難される場合は、座布団等必要なものはお持ちになって避難していただくよう市報等をお願いしているところである。」との回答がありました。</p> <p>本委員会としても、市民の状況に応じて適切に避難ができるよう、今後も避難所の環境向上を求めていきます。</p>
4	<p>(厚生)</p> <p>少子化への対策については、子育てにかかる経済的負担の軽減や男性の子育て参加への支援など、子育て環境の充実を図る必要があると考えるが、見解を聞きたい。</p>	<p>担当部局(子どもすこやか部)から、「本市では、『すべての子どもがすこやかに育つことができる大分市』を目指し、『すくすく大分っ子プラン』に基づき、各種子育て支援施策に積極的に取り組んでいる。まず、子育ての経済的な負担軽減に係る取組として、令和4年度より『すくすく大分っ子応援事業』を開始し、4月1日以降の出生児一人につき5万円を給付するとともに、令和4年10月診療分より、市町村民税課税世帯の小・中学生の通院・歯科、調剤に係る医療費を助成対象に加えている。また、男性のより一層の育児参加を促す取組として、父親を対象とした子育て教室を実施しているほか、令和4年10月より、お父さんお母さんに関わらず誰でも参加でき、初めての子育てに関する不安などを保育士や保健師に相談できるオンライン子育て講座『わくわく子育てひろば』も開催している。今後こうした取組を更に充実させることで、安心して子供を生み育てることができる社会の構築に努めていく。」との回答がありました。</p> <p>本委員会としても、子育てに関する各種施策の取組に注視するとともに、今後も引き続き、子育て環境が充実するよう働きかけていきます。</p>

令和4年度 大分市議会 市民意見交換会 意見・質問等への対応より抜粋

No.	委員会等で整理した 意見・質問	意見・質問等への対応 (担当部局の回答がある場合は、「」で囲んでいます)
5	<p>(文教)</p> <p>子供や若者が市議会等政治の仕組みなどに興味・関心を持つよう工夫した取組を行ってはどうか。</p>	<p>市教育委員会に確認し、「各学校では、社会科や特別活動等において政治の仕組みや自治的な活動の在り方等について、計画的・系統的に学習を行っている。また、平成16年度から5年に1回を基本に『大分市子ども市議会』を開催している。参加した児童生徒のアンケートによると、『市政について学ぶことができ、国や県などで行われている政治にも興味が高まった』、『市議会に興味をもつきっかけになり、実際に参加してみて市議会が身近に感じられた』といった、政治への興味・関心、市議会の仕組みや役割の理解などについて述べられており、主権者教育の観点からも大きな成果があると考えている。さらに、答弁集や当日の映像DVDを児童会・生徒会での報告や学校新聞での紹介、社会科等の授業で資料として扱うなど、学習活動に広く活用している。今後とも、開催方法や内容の工夫・改善を行い、児童生徒が将来、地域社会の一員として、主体的に政治に参加しようとする意識を高めることができるよう、主権者教育の充実に努めていく。また、『大分市20歳のつどい』においては、選挙管理委員会と連携し、明るい選挙のイメージキャラクター『選挙のめいすいくん』との記念撮影や選挙の啓発物品の配布など、選挙意識の高揚を図っている。」との回答を受けました。</p>
6	<p>(文教)</p> <p>子供会やPTA等の加入者が減少する中、教育委員会として、今後どのような対応を考えているのか。</p>	<p>市教育委員会から「子ども会については、引き続き、子ども会の意義等を伝えるチラシの配布や、各地区公民館で子ども会リーダーや保護者を対象とした研修会を実施する。今後は、子ども会の運営方法等をまとめた『子ども会活動ハンドブック』の『You Tube 版』を作成するとともに、子ども会での活動を生涯学習ポータルサイト「まなびのガイド」に掲載するなど、子ども会活動の楽しさや意義を全市に発信していく。また、PTAについては、定期的で開催する大分市PTA連合会との協議の場やPTA会長研修会、各種専門部会の会議等で積極的に意見交換を行うなど、PTA活動の活性化に向け、大分市PTA連合会と連携を密にしていく。」との回答がありました。</p> <p>本委員会としても、加入者の減少は課題と考えており、今後の動向を踏まえ、市教育委員会の取組を注視していきます。</p>

令和4年度 大分市議会 市民意見交換会 意見・質問等への対応より抜粋

No.	委員会等で整理した意見・質問	意見・質問等への対応 (担当部局の回答がある場合は、「」で囲んでいます)
7	<p>(建設) 県道鶴崎大南線の拡幅や、県道鶴崎大南線からひばりヶ丘に抜ける道路の安全確保に努めてほしい。</p>	<p>担当部局(土木建築部・都市計画部)から、以下の通り回答を受けました。</p> <p>「県道鶴崎大南線は、都市計画道路鶴崎駅前松岡線(鶴崎駅入口交差点～京が丘団地入口交差点)を含む鶴崎駅前から国道10号白滝橋北交差点までの県道となる。都市計画道路鶴崎駅前松岡線は4車線化に向けて県が事業を実施しているが、京が丘団地入口交差点から白滝橋北交差点までの区間については、都市計画としての必要性も含めて、大分県への要望を検討していく。県道鶴崎大南線から周辺道路を通過する市道の安全対策については、必要に応じて、路面標示の設置等の対策を実施していく。但し、国道10号の拡幅整備による通過車両の減少も期待できることから、拡幅整備後の交通状況等を踏まえ、別途ご相談いただきたい」</p> <p>本委員会としては、県道鶴崎大南線の拡幅事業の状況を注視するとともに、道路の安全確保を徹底するよう求めています。</p>
8	<p>(建設) 佐賀関地域の公共交通について、JR幸崎駅における鉄道と路線バスの接続や佐賀関・臼杵間の路線バスの運行を維持するための対策を講じていただきたい。</p>	<p>担当部局(都市計画部)から、以下の通り回答を受けました。</p> <p>「幸崎駅における鉄道と路線バスの接続については、幸崎駅での大分・佐賀関間を運行する路線バスと鉄道は時刻表では一定の接続が可能となっているが、路線バスの延長が約30kmと長く交通状況等によりバスの遅延が発生する場合があります、円滑な接続が困難な状況がある。これまでもJR九州大分支社やバス事業者との勉強会において利便性の向上について働きかけを行っており、今後はJR九州やバス事業等との事業者間連携の可能性について、調査・検討する。次に、佐賀関・臼杵間の路線バスについては、地域にとって大切な役割を果たしていると認識している。今すぐ減便等を行うことはお聞きしていないが、利用状況が改善されず国の補助金要件を満たさなくなるようであれば減便等も考えられる。今後も、国との協調補助を行いながら、路線維持に努めるとともに、地域住民、交通事業者との意見交換会を行い情報共有及び利用促進を行っていく」</p> <p>本委員会としても、幸崎駅における鉄道と路線バスの接続に関する市の調査・検討、並びに佐賀関・臼杵間の路線バスに関する利用促進対策について注視していきます。</p>

令和4年度 大分市議会 市民意見交換会 意見・質問等への対応より抜粋

No.	委員会等で整理した 意見・質問	意見・質問等への対応 (担当部局の回答がある場合は、「」で囲んでいます)
9	<p>(経済環境) ポイ捨て等の防止に関する条例による指定喫煙所の設置について考えを聞きたい。</p>	<p>担当部局(環境部)に確認し、「『大分市ポイ捨て等の防止に関する条例』では、たばこの吸い殻や空き缶等の散乱防止、並びに喫煙の制限について規定しており、市内中心部については『ポイ捨て防止等強化区域』に指定することで、たばこの吸い殻等のポイ捨てを禁止し、指定喫煙所以外での路上喫煙を制限している。この強化区域内では、路上喫煙やたばこの吸い殻のポイ捨てを防止するために、現在15カ所の指定喫煙所を設置している。なお、指定喫煙所の移設や撤去については、路上喫煙の状況や指定喫煙所の利用状況等を考慮するとともに、関係機関や近隣自治会、商店会と協議し、検討したうえでやっている。」との回答を受けました。</p>
10	<p>(経済環境) 少子高齢化が進む中、問題となっている労働者不足対策に取り組んでもらいたい。</p>	<p>担当部局(商工労働観光部)に確認し、「人口減少社会の到来により、労働力人口の減少が進む中、本市経済の根幹を支える企業の人材不足が顕在化をしてきている。本市としては、若者の定着を目的とした若年者向け就労応援セミナー及び潜在的な労働力の掘り起こしを目的としたシニア・女性向け就労応援セミナー、また人材確保・活用のための企業向けセミナーを開催するなど、多様な人材を含めた労働力の確保に努めているところである。また、本市の事業所が持つ優れた技術の継承のため、企業の役員や従業員が、業務上必要な能力の向上又は、技術・知識の習得を目的に研修へ参加する場合、事業者に対してその研修費用を補助する『中小企業人材育成支援事業』を実施している。」との回答を受けました。</p>

令和4年度 大分市議会 市民意見交換会 意見・質問等への対応より抜粋

No.	委員会等で整理した 意見・質問	意見・質問等への対応 (担当部局の回答がある場合は、「」で囲んでいます)
11	<p>(広報委員会) 市議会だよりの必要性、発行回数等について検討してほしい。</p>	<p>市議会だよりは、大分市議会の広報媒体として重要であり、各定例会後に定例会で審議した内容等を掲載し、発行しています。</p>